

エラスムス計画

○概要

- ・各種の人材養成計画、科学・技術分野におけるEU加盟国間の人物交流協力計画の一つであり、大学間交流協定等による共同教育プログラムを積み重ねることによって、「ヨーロッパ大学間ネットワーク」を構築し、EU加盟国間の学生流動を高めようとする計画。（文部科学省HPより）

<別添資料の内訳>

P.1～ エラスムス計画(文部科学省資料の抜粋)

P.4～ 大阪大学の取組(ホームページ抜粋)

P.8～ 法政大学の取組(ホームページ抜粋)

(文部科学省資料より)

エラスムス計画

1. エラスムス計画 (The European Community Action Scheme for the Mobility of University Students : ERASMUS) は、各種の人材養成計画、科学・技術分野における EU (計画当初は EC) 加盟国間の人物交流協力計画の一つであり、大学間交流協定等による共同教育プログラム (ICPs : Inter-University Co-operation Programmes) を積み重ねることによって、「ヨーロッパ大学間ネットワーク」 (European University Network) を構築し、EU 加盟国間の学生流動を高めようという計画である。
2. エラスムス計画の提案は、1985 年 12 月、当時の EC 委員会より閣僚理事会に提出された計画書に始まり、約 1 年半に及ぶ閣僚理事会での協議を経て、1987 年 6 月 15 日に正式決定され、パイロットプログラムが開始された。
2007 年に 20 周年を迎えた。参加する学生の 80% が初めての留学体験であり、1987 年には 3,244 名だった参加者は、2005 年には 15 万人を超えた。
3. 計画の目的
EU の経済力の強化と加盟国間の結合の促進という、極めて明確で具体的な目標をもって実施されている。
 - (1) EU 全体として人的資源を養成・確保すること
 - (2) 世界市場で EU の競争力を向上させること
 - (3) 加盟国の大学間の協力関係を強化すること
 - (4) EU 市民という意識を育てること
 - (5) 域内での協力事業への参加経験を学卒者に与えること
4. 計画の推移
 - 第 1 期 (1987-1995 年)
 - ・開始当初は、年間約 3,000 人の学生交流 (参加 12 カ国、300 校程度)、約 1,000 人の教官交流
 - ・1989 年に「ヨーロッパ単位互換制度 (European Credit Transfer System : ECTS)」の導入
 - 第 2 期 (1996-2000 年) : ソクラテス計画に含まれる
 - ・9 つの事業 (①学生交流、②教官短期交流、③教官長期交流、④事前交渉、⑤欧州研究モジュール、⑥学部学生対象のカリキュラム開発、⑦大学院学生対象のカリキュラム開発、⑧総合語学教育科目、⑨集中講座) から成る。

○第3期（2001－2006年）：ソクラテスⅡ計画に含まれる

- ・ソクラテスⅡ計画の7年間の予算は、約18億5千万ユーロ（このうち約50%がエラスムス計画）。
- ・8つの事業（①学生交流、②教官短期交流、③事前交渉、④欧州研究モジュール、⑤学部学生対象のカリキュラム開発、⑥大学院学生対象のカリキュラム開発、⑦総合語学教育科目、⑧集中講座）から成る。

○第4期（2007－2013年）：生涯学習行動計画に含まれる

- ・2012年までに1987年からの累計300万人の交流達成との数値目標のほか、学位の透明性・適合性の向上などが盛り込まれている。
- ・生涯学習行動計画の7年間の予算は、約70億ユーロ（このうち約40%がエラスムス計画。エラスムス計画予算のうち80%以上は流動性の向上）。

5. 予算の内訳（2005年度）

2005年度のエラスムス計画予算は約2億100万ユーロ（前年度比19.6%増）で、1国・機関あたり平均約628万ユーロ、最大助成受給国はドイツで約2,339万ユーロ。

- （1）学生流動化：約1億6,125万ユーロ、154,421人（前年度比7.2%増）。往復旅費、語学学習費、滞在費（自国と相手国の生活費の差額）などの助成。
- （2）教官流動化：約1,551万ユーロ、23,449人（前年度比12.3%増）。
- （3）機関交流：約2,313万ユーロ。
- （4）語学課程：約107万ユーロ。

6. 計画の課題

- （1）需要増加に見合う予算の不足（助成金のための予算、事務運営のための予算等）
- （2）言語の違いによる学生流動の不均衡（英仏語圏優位）
- （3）学生の不安（助成金の低さ、他国での勉学、単位認定・資格取得への不安等）
- （4）自由流動学生の相対的不利
- （5）学生宿舎の絶対的不足

参考 エラスムス・ムンデユス

本プログラムは、欧州と欧州以外の他の地域との高等教育機関における学生交流を通して、欧州の大学間の連携を強化し、欧州の高等教育の質と競争力を改善することを目的とした高等教育計画（「ムンデユス」は、ラテン語で「世界」の意）。

○第1期（2004－2008年）

・5年間の予算は、約2億3,000万ユーロ（計画当初額）。

・4つの事業。

- ① 「エラスムス・ムンデユス修士課程」：2006年末までに80課程（プログラム終了時の予測は105課程）。
- ② 欧州以外の地域からの学生及び研究者のための「エラスムス・ムンデユス奨学金」：2006年末までに2,325人に支給（プログラム終了時の予測は6,000人）。
- ③ 欧州からの学生及び研究者への奨学金のある欧州以外の地域の高等教育機関との連携：2006年末までに19件（プログラム終了時の予測は50件）。
- ④ 欧州高等教育の世界的な魅力を高める取組：2006年末までに23件（プログラム終了時の予測は50件）。

○第2期（2009－2013年）

・5年間の予算は、約4億9,369万ユーロ（計画当初額）。

・3つの事業。

- ① 奨学金を含む「エラスムス・ムンデユス修士課程」と「エラスムス・ムンデユス博士課程」
- ② 奨学金を含む欧州以外の地域の高等教育機関との連携
- ③ 欧州高等教育機関の魅力の充実

エラスムス・ムンドゥス ユーロカルチャー・プログラム修士課程

2018-20



ヨーロッパ各地の大学に留学してみませんか？

豊富なカリキュラムを通じ、現代ヨーロッパの文化・社会・政治について、EU圏内の複数大学で多角的に学べるプログラムです。

応募書類提出先：文学研究科教務係
応募締め切り：2017年10月31日(火)17:00まで

お問い合わせ先：文学研究科 国際連携室国際交流センター

06-6850-5993 inter@let.osaka-u.ac.jp



選考の流れ

インターネット申請画面

応募者は、エラスムス・ムンドゥス ユーロカルチャープログラムのホームページから各自、入力します。
(* 2018-20 への申請画面は 10 月中頃公表予定。Submit 直前の最終確認ページを印刷して提出。)

書類・面接審査

大阪大学文学研究科教員による書類・面接審査後、推薦を受けた応募者には、ユーロカルチャープログラム運営委員会による書類審査、(Skype 面接が課されることも)あります。

採用決定

2 月頃に合否が決定

大阪大学文学研究科は、Euroculture Programme コンソーシアム参加校です

「ユーロカルチャー修士課程」(Erasmus Mundus Master of Arts EUROCULTURE) では、次頁の 12 大学がコンソーシアムを構成しています。

ユーロカルチャー修士課程に入学すると、次頁の EU 圏内 8 大学のうち 2 つの大学で 2 年間学び(阪大からの EU 圏外 3 大学の選択は不可)、課程を修了すれば Master of Arts の学位が与えられます。また、第 II セメスターの終りの 6 月には 8 大学のいずれかにおいて、後述の集中セミナー(IP: Intensive Programme)が開催されます。

授業は原則として英語で行われることになっていますが、デュスト大学・ウーディネ大学・ストラスブール大学ではそれぞれスペイン語・イタリア語・フランス語で指導が行われる場合もあります。詳しくは、以下の公式 HP を参照してください。

www.euroculturemaster.eu

学生はまず EU 圏内 8 大学のいずれかに登録します。ユーロカルチャー修士課程には、研究コース(Research Track)、そして専門職コース(Professional Track)の 2 つのコースがあります。いずれも 2 年間 4 セメスター制からなり、期間中に 120ECTS(単位)を取得します。第 II セメスターと第 III セメスターの間に、「集中セミナー(IP)」が行われます。これは、ユーロカルチャー修士課程の全学生と、多数の教授が参加する 10 日間の国際セミナーで、毎年 EU 圏内 8 大学のいずれかを会場にして開催されます。

なお、本課程修了生の多くは、EU 諸機関や NGO といった国際機関のほか、外交、教育、文化行政、出版・報道など多様な分野において活躍しています。また、博士後期課程へと進学し、さらに専門性を高めようとする修了生も少なくありません。

ECTS について

ECTS: The European Credit Transfer and Accumulation System(単位互換積算制度)

ヨーロッパ単位互換積算制度とは、プログラムの目標達成に必要な学習量にもとづく、学生本位の単位システム(Student-Centred System)です。フルタイムの学生が 1 学年の間に修得する総単位を 60 単位とする、という原理に基づいています。また、Eurocompetence とは、ユーロカルチャーの学生に自らの職業生活を準備させ、専門職の分野での就職可能性を高めることを目的とする、ユーロカルチャー独自の学際的な単位科目です。その学習内容は、プロジェ

クトに関連した特別なケース・スタディとグループワークによって、学問的スキルと専門職の分野での知識を統合することに注意を向けさせるものです。具体的には、(I)課程の修了に必要なとされる様々な主要能力の訓練、(II)グループ・プロジェクトの実行を通じた、多文化コミュニケーション能力の訓練、そして(III)個々のプロジェクトへの応用、から成っています。(I)、(II)にはそれぞれ 5ECTS、(III)には 10ECTS が

EU 圏内 8 大学 (8 European Institutions)



グローニンゲン大学 (オランダ 1614-) *コンソーシアム事務局

Rijksuniversiteit Groningen / University of Groningen

ゲッティンゲン大学 (ドイツ 1737-)

Georg-August-Universität Göttingen / University of Göttingen

デウスト大学 (スペイン 1886-)

Universidad de Deusto / University of Deusto

ウーディネ大学 (イタリア 1978-)

Università di Udine / University of Udine

ヤギロニアン学 (ポーランド 1364-)

Uniwersytet Jagielloński w Krakowie / Jagiellonian University in Krakow

パラツキー大学 (チェコ 1573-)

Univerzita Palackého v Olomouci / Palacký University in Olomouc

ウプサラ大学 (スウェーデン 1477-)

Uppsala Universitet / Uppsala University

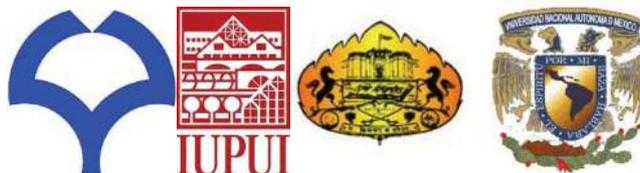
ストラスブール大学 (フランス 1621-)

Université de Strasbourg / University of Strasbourg

留学中の宿泊について

留学中の宿泊については、その大学の学生寮が使用できる場合もありますが、そうでない場合、各自で探す必要があります。学生寮の使用の可否に関しては、留学先の大学に問い合わせてください。

EU 圏外 4 大学 (Third Country Partner Institutions)



大阪大学 (日本 1931-)

Osaka University

インディアナ大学・パーデュー大学インディアナポリス (アメリカ合衆国 1969-)

Indiana University Purdue University Indianapolis

プーネ大学 (インド 1949-)

University of Pune

メキシコ国立自治大学 (メキシコ 1910-)

Universidad Nacional Autónoma de México / National Autonomous University of Mexico

EU とエラスムス計画

欧州連合 (European Union: EU) では同連合加盟各国の大学間で大規模な人的交流を進めています。これを「エラスムス計画」(Erasmus Programme) と称します。この計画は欧州共同体 (European Community: EC) によって 1987 年に開始され、The European Region Action Scheme for the Mobility of University Students の略から ERASMUS と命名されたとされています。ムンドゥス Mundus とはラテン語の「世界、宇宙」を表す語です。エラスムス計画にこの語を添えた「エラスムス・ムンドゥス・プログラム」(Erasmus Mundus Programme) とは、欧州連合内の各大学と欧州連合外の諸大学との人的交流を図る、いわば「エラスムス計画・世界版」です。この計画のもとに、欧州連合内の様々な大学がチーム (コンソーシアムと呼ばれます) を組み、多くの「エラスムス・ムンドゥス修士課程」(Erasmus Mundus Master Programme) が提供されています。

ユーロカルチャー学位取得までの流れ

第 I セメスター (9月～1月) **30** ECTS [滞在先は EU 圏内の登録大学(1st University)]

EU 圏内 8 大学のいずれにおいても、共通の入門科目として主要科目(Core Courses)及び Eurocompetence 科目が開講されています。10 月頃に第 II セメスターの受入れ大学を決定します。

- Core Concepts of European Society, Politics and Culture (25)
- Eurocompetence I (5)

第 II セメスター (3月～6月) **25** ECTS [滞在先は EU 圏内の別の大学(2nd University)]

この期間は、事前に専門分野に応じて選択した 2 つ目の大学に滞在します。Eurocompetence 科目はどの大学でも継続されます(5ECTS)。修士論文の作成を開始します。

- Eurocompetence II (5)
- Methodology & Theory Seminar (10)
- Research Seminar (10)

集中セミナー (6月) **5** ECTS [EU 圏内 8 大学のうちのいずれかで実施]

集中セミナー(Intensive Seminar Programme: IP)では 10 日間にわたって、第 I・第 II セメスターで学習したことを主題に、学術的・社会的観点から研究発表・討論が行われます。

- IP Participation (5)

第 III セメスター (9月～12月) **30** ECTS [滞在先は 1st University 又は 2nd University]

このセメスターで、学生は更に文化・社会・政治などに関する研究を深めます。研究コースの学生は研究セミナー(25ECTS)を受講し、専門職コースの学生はインターンシップ(25ECTS)に従事します。また、セメスター終了時には修士論文のアウトラインを提出します(5ECTS)。

- Research Seminar/Internship ^[1] (25) [注 1] 研究コースの学生は研究セミナーを受講。専門職コースの学生はインターンシップ。
- Thesis Outline/Proposal (5)

第 IV セメスター (2月～6月) **30** ECTS [滞在先は 1st University 又は 2nd University]

最後の Eurocompetence 科目(5ECTS)を履修します。また、6 月 1 日までに修士論文(25ECTS)のファイナルドラフトを指導教員に提出し、指導教員のコメントを基に 8 月 1 日までに完成させます。

- Eurocompetence III (5)
- Master Thesis (25)

学位の取得

ユーロカルチャー修士課程に参加し、必要な単位(120 ECTS)を修得した学生は、1st University と 2nd University の両方から修士号(Master of Arts)を受けることができます。

留学期間中の単位の互換

ユーロカルチャー修士課程に参加して留学する場合、大阪大学文学研究科の大学院生は本学の単位認定制度を利用することができます。ユーロカルチャー修士課程で履修した単位を、大阪大学文学研究科では所定の手続きを経た上で 10 単位まで修了要件単位として換算することが可能です。詳しくは文学研究科教務係に留学前に相談して下さい。他研究科に所属する学生は各自の研究科に問い合わせして下さい。

法政大学 エラスムス ユーロソロフィ

(法政大学HPより引用)

2015年プログラムスタート！

法政大学は、ヨーロッパ連合（EU）のエラスムス・ムンドゥス修士課程《ユーロフィロソフィ》の2015年度プログラムを開講します。EUからの教員7名に日本の教員5名が加わり、《ユーロフィロソフィ》から選抜されてくるヨーロッパの学生たちに、ヨーロッパ哲学（おもに独仏哲学）の講義を2015年4月から6月まで、3ヶ月にわたって行います。ヨーロッパからの学生に交じって、日本人学生・市民の皆さんにも自由聴講で参加していただくことができます。この日本で、ヨーロッパ哲学をフランス語で教え学ぶということを通じて、ヨーロッパ哲学の現在と日本哲学の現在とを直に接触させ、哲学の潜勢力を引き出していく、これがこのプログラムの狙いです。哲学の現在と将来に関心を寄せる、多くの皆さんにご参加いただければと思います。

なお、法政大学大学院人文科学研究科哲学専攻の学生がこのプログラムに参加し、最後の試験も受験して一定の成績評価を受けた時には、その成績は法政大学大学院での修了所要単位の一部として認定されます。

実施期間：2015年4月6日（月）—6月26日（金）

実施場所：法政大学・市ヶ谷キャンパス・大学院棟702教室

[〒162-0843 新宿区市谷田町2-15-2/TEL：03-5228-0551

<http://www.hosei.ac.jp/campus/ichigaya/index.html>]

EU側実施責任者：アルノー フランソワ（フランス・トゥールーズ第2大学）

日本側実施責任者：安孫子信（法政大学）abiko@hosei.ac.jp

ユーロフィロソフィ公式HP：<http://www.europhilosophie.eu/mundus/>

法政プログラム公式HP：<http://erasmus.ws.hosei.ac.jp/>